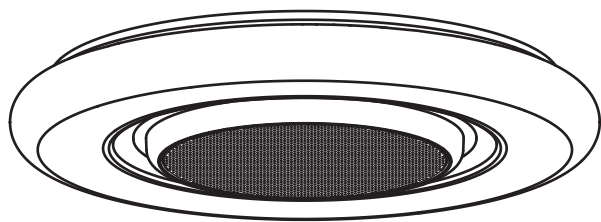


Luminous[®] LED

Bluetooth[®] スピーカー搭載シーリングライト OS-W08DS

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	P. 2 ~ 3
各部の名称とはたらき	P. 4
ご使用になる前に	P. 5
取り付けかた	P. 6 ~ 10
正しい使いかた	P. 11 ~ 13
取りはずしのしかた	P. 14
お手入れのしかた	P. 14
修理・サービスを依頼する前に	P. 15
アフターサービスについて	裏表紙

仕 様

品 名	Bluetoothスピーカー搭載シーリングライト	
型 名	OS-W08DS	
電 源	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	約38W(照明のみ100%点灯時) 約1W(常夜灯点灯時) 約16W(消灯状態でBluetoothスピーカー最大出力時) 10.5W(電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈 別表第八に基づくスピーカー出力時)	
器具光束	約3900lm(ルーメン)	
スピーカー部	形式	2Wayバスレフ型
	スピーカー	フルレンジ : φ70mm 4Ω ツイーター : φ31mm 4Ω
	定格出力	10W
本体質量	約2.5kg	
外形寸法	(約)φ500mm×厚み86mm(スポンジを含まず)	
付 属 品	専用取り付けアダプタ×1、リモコン×1、リモコン用単3形乾電池(お試用)×2 リモコンケース×1、リモコンケース用ネジ×2	

- LED光源など部品の交換は出来ません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型名の商品であっても発光色、明るさが異なる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の商品は一部異なる場合があります。



J9C30201A

OS-W08DS





安全上のご注意






- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)



警告

 禁止	取り付けできない天井・取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。 ●取り付けできない天井 ・凹凸のある天井（格子天井・船底天井・竿縁天井） ・傾斜した天井 ・取り付け部のまわりに凹凸や極端な突出部がある天井 ・簡単にたわむ天井 取り付けられた場合でも火災・感電・落下してけがの原因になります。 ●取り付けできない配線器具 ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・取り付けが不十分でグラグラするもの ・ケースウェイに取り付けてあるもの ・配線だけのもの ・出しるが少ないもの（埋込ローゼット／10mm以下、引掛シーリング／21mm以下） 火災・感電・落下してけがの原因になります。	<div data-bbox="710 1425 772 1512">  指示 </div> 取り付けや取りはずし、お手入れをするときは、必ず電源を切る。 感電・けがの原因になります。 専用取付アダプタは奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火・落下の原因になります。 調光機能のついた電源（壁スイッチなど）は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。 専用取付アダプタの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま取付専用アダプタを差し込むと、ショート・火災の原因になります。 お手入れの際には、必ず電源を切って、本体内部を濡らさない。 火災・感電の原因になります。 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。
 禁止	電源は交流 100V 以外で使用しない。 火災・感電の原因になります。 本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。 室内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度 5℃～35℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。 ストープなど温度の高くなるものを本製品の近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。 専用取り付けアダプタは本製品専用の為、他製品に使用しない。 火災・感電の原因となります。	
 使用禁止	異常時（こげ臭い、発煙など）は電源を切り、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。 製品が結露する湿気が多い環境、ほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところで使用しない。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止

警告

 ぬれ手禁止	ぬれた手で、取り付け作業や取りはずし作業をしない。 感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。防水仕様にはなっていないため、浴室など湿気が多い場所や、常時温度が高い場所への設置はしない。 ショート・火災・感電の原因になります。
---	--	--	---

注意

 禁止	点灯中や消灯直後は熱くなっているため器具に触れない。 やけどの原因になることがあります。	 指示	カバーは確実に取り付けます。 落下してけがの原因になります。
	本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けない。 また破損した部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因になることがあります。		天井の材質によっては、変色・変形することがあるので十分注意する。 光を発生し、熱を持つ機器のため、変色・変形の原因になります。
	ものをぶつけたり、衝撃をあてない。 本製品の落下による、けが・やけどの原因になります。		設置して長期間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。
	LED光源を直視しない。 目に悪影響を及ぼす原因になります。		リモコンでスイッチを切ると、常時待機電力がかかっているため、長時間点灯しない場合は、電源（壁スイッチなど）を切る。 節電になります。
	ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。 雑音の原因になることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用するようになさってください。		被照射物と距離は1m以上あける。 色あせ、変色の原因になります。
	リモコンの電池を交換するとき、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 故障の原因になります。		リモコンが誤動作を起こすような場合、リモコンと本体のチャンネル設定を切り替える。 ほかの機器のリモコンによって動作したりする場合、もしくは本製品のリモコンがほかの機器を動作させる場合に切り替えてください。
付属のリモコンは本製品専用の為、他製品に使用しない。 故障や誤作動の原因になります。			

乾電池に関する安全上の注意

■電池の使い方を誤ると、電池が液漏れ、発熱、破裂したり、けがや機器故障の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

警告

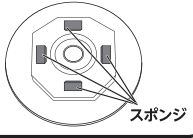
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池の電解液が目に入ったときは失明など障害のおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- 電池の(+) (-)を逆にして使用しないでください。
- 電池の電解液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- 電池の(+) (-)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保存しないでください。
- 付属の電池は充電式に造られていません。充電すると液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池を入れたままにしておくと液漏れがあり危険です。

注意

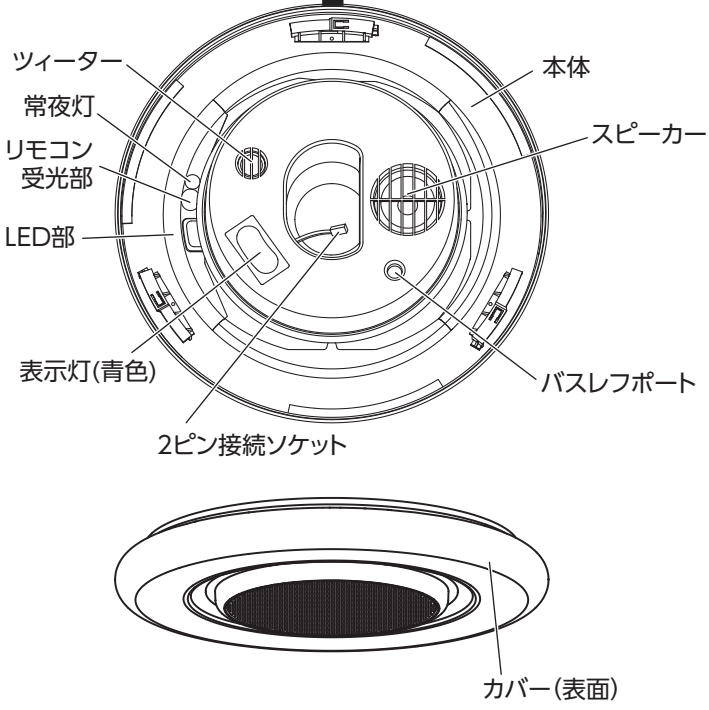
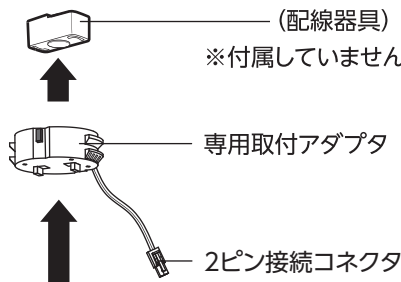
- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は絶対に使用しないでください。
- 充電式（ニカド・ニッケル水素など）電池を使用しますと、機器が持っている性能を発揮できないことがあります。（機器が誤作動するなど）
- 電池の消耗により正常に作動しない場合があります。その際は新しい電池と交換してください。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使用してください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

各部の名称とはたらき

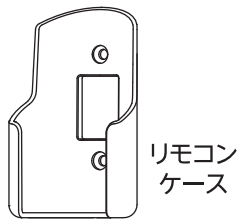
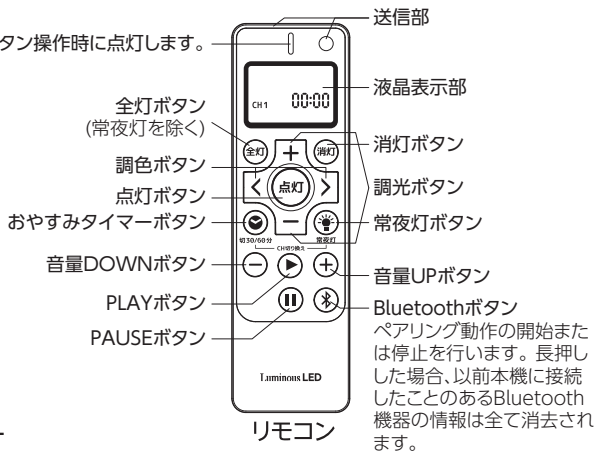
※本体裏面についているスポンジは取らないでください。(ガタツキや本体回転防止のため必要です。)




※本体裏面のスポンジの配列はイメージです。



付属品



取り付けには必ず付属の専用取付アダプタをご使用ください。

 <p>警告</p>	<p>・付属以外の取り付けアダプタを使用しない。 火災や故障、落下の原因になります。</p> <p>・取り付け・取りはずしなど、必ず電源を切っておこなう。 感電や故障の原因になります。</p> <p>・配線器具が設置されていない場合、工事は販売店・工事店などに相談する。 配線する、器具を取り付けるなどの作業は、電気工事士法施行規則(第二条)で有資格者での作業が必要と定められています。資格を持っていない人が、勝手な判断で工事をしたりしないでください。</p>
---	--

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	リモコン	1 個
カバー	1 個	リモコン用単3形乾電池	2 本
専用取付アダプタ.....	1 個	(お試し用)	
リモコンケース用ネジ	2 個	リモコンケース	1 個

ご使用になる前に

Bluetooth について

Bluetooth(ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、Wifiの使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機に内蔵された無線装置は、電波法に基づく認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機に内蔵の無線装置を分解/改造すること
- ・本機に内蔵の無線装置に貼ってある認証ラベルをはがすこと

Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部 仕様

適合規格	Bluetooth Ver 5.0
通信出力	Class 1
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP AVRCP
対応コーデック	SBC, AAC, APT-X
通信距離*	(見通し) 約 10 m *
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	8 台

* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

ご注意

- ・お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。
- ・本機に接続しているBluetooth機器側の設定により、ペアリングできない、操作できない、異常動作発生等の可能性があります。
- ・スピーカーにキャッシュカードや定期券等の磁気カードや時計などを近づけると、正しく機能しなくなる事があります。
- ・再生している音楽や音声に音割れが発生した場合は、本機に接続しているBluetooth機器側の音量を下げてください。
- ・再生している音楽や音声がひずむ場合は、本機に接続しているBluetooth機器側の音量を下げてください。
- ・ペアリング後、大音量で再生する場合がありますので、あらかじめ本機に接続しているBluetooth機器側の音量を低めに設定してください。
- ・再生している音楽や音声の音量によっては、階上に音が伝わる場合があります。

免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合による外部機器等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

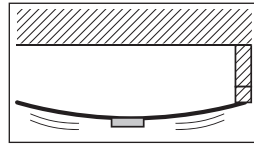
取り付けかた

取り付け前の確認事項

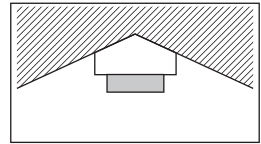
1. 取り付ける天井の状態を確認する

- 右図[取り付けることのできない天井]のような天井になっていないことを確認してください。

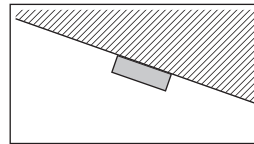
[取り付けることのできない天井]



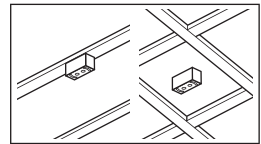
たわむ天井 補強のない天井



船底天井



傾斜した天井



竿縁天井 格子天井

2. 取り付ける天井についている配線器具を確認し、配線器具の出しろを計測・確認する

- 天井に右図[取り付けることのできる配線器具]のような配線器具が設置されていれば、取り付けることができます。
- ただし、配線器具が以下のようなものである場合は取り付けできません。

取り付けできない配線器具

- 電源端子が露出しているもの
 - 破損しているもの
 - 取り付けが不十分でグラグラするもの
 - ケースウェイに取り付けてあるもの
 - 配線だけのもの
 - 出しろが少ないもの(埋込ローゼット/10mm以下、引掛シーリング/21mm以下)
- 配線器具が設置されていない場合や、取り付けできない配線器具でも交換により取り付けできる場合がありますので、販売店・工事店にご相談ください。
- 出しろの長さによって本体の取り付け方法が異なりますので、ご確認ください。(P7参照)

[取り付けることのできる配線器具]



出しろ 11mm	出しろ 22mm	
引掛埋込ローゼット	丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング
引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)	丸型フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング

3. 取り付ける電源 (壁スイッチなど) に調光機能がないことを確認する

- 調光機能のついた電源 (壁スイッチなど) の場合、使用できません。販売店・工事店にご相談ください。

調光機能付	スイッチのみ

上記イラストのようなスイッチ以外にも、調光機能の付いたスイッチは使用できません。

[取り付けできない配線器具]

電源端子が露出しているもの	破損しているもの	取り付けが不十分でグラグラするもの
ケースウェイに取り付けてあるもの	出しろが少ないもの	埋込ローゼット 10mm以下 引掛シーリング 21mm以下
配線だけのもの		

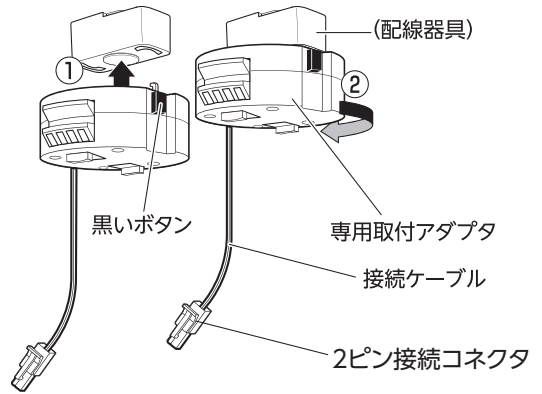
取り付けかた(つづき)

取り付けかた

1. 電源(壁スイッチなど)を切にする



警告 取り付けをするときや、お手入れをするときは必ず電源を切にする。
感電・やけどの原因になります。



2. 天井の配線器具に専用取付アダプタを取り付ける

- ① 配線器具へ専用取付アダプタの2本の引っ掛け刃を差し込みます。
- ② 「カチッ」という音がするまで右に回します。
ロックされてはずれなくなります。
・やりなおす場合など、黒いボタンを押すとロックが解除され、はずれるようになります。



注意 必ず付属の専用取付アダプタを使用する。
ほかのものを使用すると故障・火災の原因になります。

・黒いボタンを押さないで回してみ、はずれないことを確認する。
取り付けが不十分ですと、落下してけがの原因になります。

3. 本体を取り付ける



注意 本体裏に取り付けられているスポンジは、はずさないでください。

- ① 本体を持ち、専用取付アダプタの接続コネクタ接続ケーブルを本体中心部の穴に通しておきます。



警告 接続ケーブルを本体・専用取付アダプタではさまないようにする。
感電・火災の原因になります。

- ② 専用取付アダプタに本体の穴を合わせて押し上げます。
・配線器具の出しろによって、押し上げかたが違います。

出しろが11mmの場合

専用アダプタを通して「カチッ」と1度音がするまで本体を押し上げます。

- ・側面のツメが両脇からひとつずつ出ているのが見えます。Ⓐ

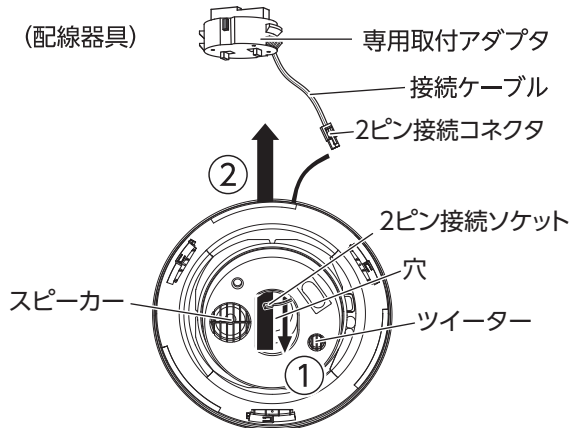
出しろが22mmの場合

専用アダプタを通して「カチッ、カチッ」と2度音がするまで本体を押し上げます。

- ・側面のツメが両脇からふたつずつ出ているのが見えます。Ⓑ

- ③ 本体が正しく取り付けられているか、確認します。

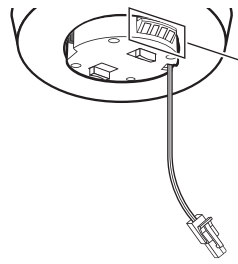
- ・本体が回転しない
本体がガタガタ・グラグラしない
異常が認められましたら一度取りはずして、取り付け直してください。



注意 取り付けるときは本体の中央付近を支えるようにして押し上げてください。端を強く持って押し上げると、本体が歪んでうまく取り付けができない場合があります。
・本体を持つ際には、スピーカー/ツイーター前面部の格子部分を持たないでください。格子が割れてスピーカー/ツイーターを破損させる恐れがあります。

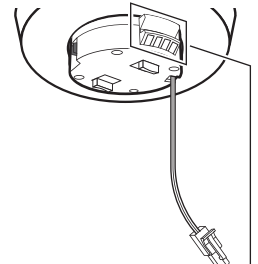


出しろ 11mm



ツメがひとつⒶ

出しろ 22mm

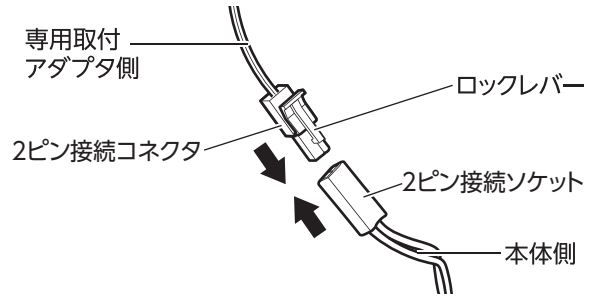


ツメがふたつⒷ

取り付けかた(つづき)

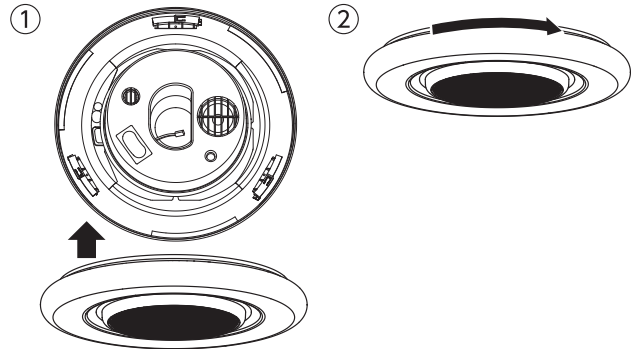
4. 2ピン接続コネクタを本体の2ピン接続ソケットに取り付ける

- カチッと音がするまで確実に取り付けます。
- 取り付けてから一度軽く引っ張って、ロックがかかっていることを確認してください。



5. 本体にカバーを取り付ける

- ① 本体の真下からカバーを押し付けます。
- ② カチッと音がするまで右まわしにします。
- ③ カバーが水平に取り付けられていることを確認してください。



取り付けかた(つづき)

6. リモコンに電池を入れる

下記の手順で付属の電池(単3形乾電池)を入れてください。

1. 電池ぶたを開く

電池ぶたボタンを押して電池ぶたを開きます。

2. +と-の向きに注意して、電池を入れる

3. 電池ぶたを閉める

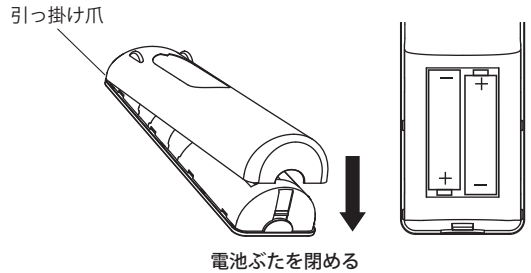
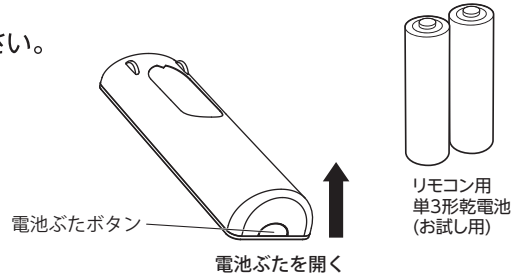
上側の爪を引っ掛けて下側をかぶせるようにして電池ぶたを閉めます。

カチッと音がするまで押し込んでください。

- リモコンと本体の受信部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

※P3の乾電池に関する安全上の注意を確認してください。

- リモコンの時計がずれてきた場合は、以下の手順で現在時刻を合わせてください。



7. リモコンの時計を設定する

1. お休みタイマーボタンを長押し

液晶上の時計表示 ○○時が点滅する。



※時計は24時間表示です。

2. 調光+ボタンで ○○時が進む

調光-ボタンで ○○時が戻る

長押しで進む/戻るが加速します。

3. 点灯ボタンで決定

○○分が点滅する。

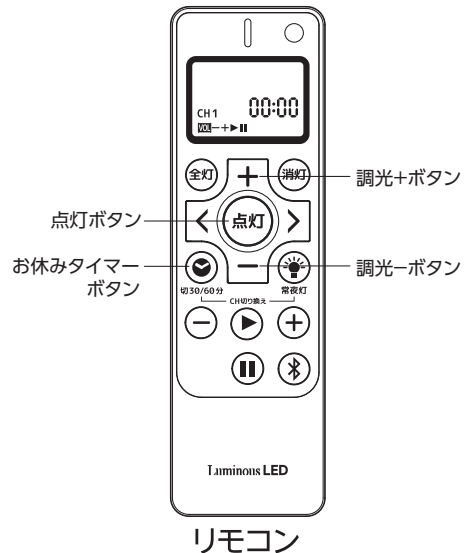
4. 調光+ボタンで ○○分が進む

調光-ボタンで ○○分が戻る

長押しで進む/戻るが加速します。

5. 点灯ボタンで決定

12:00



取り付けかた(つづき)

8. 本体とリモコンのチャンネル切替を設定する

※出荷時は、本体・リモコンともにチャンネル1(CH1)に設定してあります。

1. 本体にリモコンを向けて、おやすみタイマーボタンと常夜灯ボタンを同時に5秒以上長押しする

「CH1」に設定した場合

ピーと長い音に続いて短いピツ音が1回鳴ります。

「CH2」に設定した場合

ピーと長い音に続いて短いピツ音が2回鳴ります。

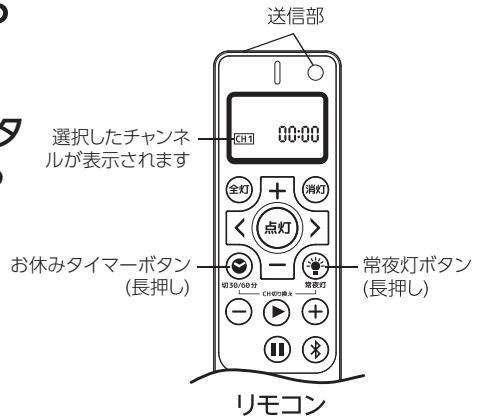
2. 2台の器具を設置する場合の設定

2台同時に操作する場合

本体1台目、本体2台目ともに本体を同じチャンネルに合わせます。

2台別々に操作する場合(部屋別で操作させたいなど)

- 本体1台目はチャンネル1(CH1)、本体2台目はチャンネル2(CH2)
- リモコン1台目はチャンネル1(CH1)、リモコン2台目はチャンネル2(CH2)に合わせます。



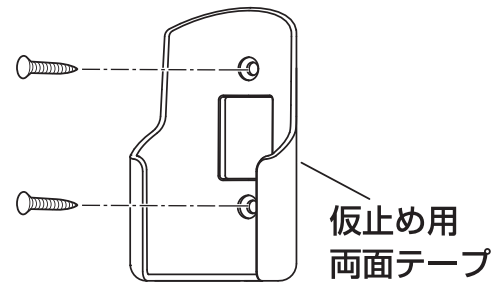
⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> • 2台同じチャンネルにしても、器具間の距離やリモコンの方向により同時に点灯しないことがあります。 • 付属のリモコンの操作に関係なく本製品の明るさが切り替わる場合は、本体とリモコンのチャンネルを変更してください。
-----	--

音のイメージ	ピー ピツ	ピー ピピツ
チャンネル	チャンネル1 (CH1)	チャンネル2 (CH2)

9. リモコンケースを設置する

付属のリモコンケースは、リモコン反応を確認のうえ、貼付してある両面テープで仮止めをしてください。設置場所が決まりましたら、付属のネジを使用して設置してください。

※設置場所によってはリモコンケースに入れたまま操作しても、本製品は反応しない場合があります。



正しい使いかた

照明の点灯・消灯

1. 電源(壁スイッチなど)をいれる

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。

- ・点灯しない場合、接続に問題があることがあります。電源(壁スイッチなど)を切って、カバーをはずして以下の点をチェックしてください。
- ・専用取付アダプタと本体(2ピン接続コネクタと2ピン接続ソケット)の接続を目視で確認する。
- ・専用取付アダプタと配線器具との接続を目視で確認する。

上記接続に問題がないことを確認してから電源(壁スイッチなど)を入れてください。

2. リモコンの各ボタンを押して調光する

各調光ボタンを押すと、調光します。(図1を参照)

- ・リモコンが効かない場合、リモコンの設定などに問題があることがあります。以下の点をチェックしてください。
 - ・チャンネル切替(P10の8参照)
 - ・電池の入れかた(P9参照)
- 受信部・送信部まわりに遮へい物がないかどうか。

3. 照明を消す

電源(壁スイッチなど)が入の状態、リモコンの消灯ボタンを押すと照明が消えます。照明が消えても待機電力がかかった状態になるため、長時間電源を入れない場合は、電源(壁スイッチなど)を切にしてください。

4. リモコンの各ボタンを押して調色する

各調色ボタンを押すたびに調色します。(図1を参照)

5. おやすみタイマー

点灯時、おやすみタイマーボタンを1回押すと、30分後に自動で消灯します。2回押すと、60分後に自動で消灯します。タイマーを解除するときは、もう1度押してください。

※解除されたとき、タイマー設定時よりも長くボタン音が鳴ります。(図2を参照)

6. メモリー機能

調光・調色で操作した最後の状態で点灯します。

- ・壁スイッチメモリー
壁スイッチ入・切する場合、壁スイッチで切る前の最後の状態で点灯します。
- ・リモコンメモリー
点灯ボタンを押すと、前回点灯していた調光・調色で点灯します。

※常夜灯はメモリー点灯しません。

※操作できない場合は、本体とリモコンのチャンネルを確認する。

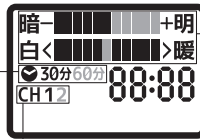
※出荷時は、本体・リモコンともにチャンネル1(CH1)に設定してあります。

※本体のチャンネル合わせはP10の8をご参照ください。

リモコンの液晶画面と本体の同期について

リモコンによる操作と無関係に壁スイッチなどで電源を切ると、本体とリモコンの設定が異なってくる場合があります。その場合は、本体にリモコンを向けて、設定を変更したり、操作したいボタンを押すと、液晶表示部に表示されている内容が本体に送信され同じ設定になります。

おやすみタイマーボタンを押した回数に対応した時間が表示されます。
※30分の場合は30分後、60分の場合は60分後に液晶表示が消えます。
設定されているチャンネルが表示されます。



液晶表示部

調光・調色ボタンを押す毎に表示が変化します。
※ボタンを離すと10秒後に液晶表示が消えます。



リモコン

図1

調光ボタンを押すたびに、

- …少しずつ明るくなります。
- …少しずつ暗くなります。

- 調色 ボタンを押すたびに、
- … 昼光色
 - … 電球色 になります。

それ以上、調光・調色できない時には「ピピッ」と音がします。

図2

押す回数	1回目	2回目	3回目
音のイメージ	ピッ ●	ピピッ ●●	ピー ●—
タイマー時間	30分	60分	解除



2台同じチャンネルにしている場合は、器具間の距離やリモコン操作の方向により同時に点灯しないことがあります。



付属のリモコンの操作に関係なく本製品の明るさが切り替わる場合は、本体とリモコンのチャンネルを変更してください。



リモコンで電源を切にすると、急に消灯せずにゆるやかに消灯していきます。

正しい使いかた(つづき)

Bluetooth® 機器を聴く

Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
 - 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。
- 本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

Bluetooth 機器との初めての接続

1. ペアリングしたいBluetooth機器の電源を入れる
Bluetooth 接続モードにしておきます。
2. 壁のスイッチを入れる
本体の表示ランプが点滅します。
3. 本体の表示灯が点滅している間(約1分間)以内に接続するBluetooth機器を検索しペアリングを行う。
4. 接続するBluetooth機器のサーチ機能を利用して、本機の製品名「OS-WDS series」を検索する
検索が完了すると、接続する外部機器のディスプレイ部に「OS-WDS series」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。
※ペアリング接続・設定方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
※PIN コードを要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。
5. 接続が成功すると、表示灯が点灯し、スピーカーから"ピロリン"と音が出ます。
接続成功して1分後に表示灯は消灯します。
6. 接続がうまくいかないときは、約1分経過後に検索機能が停止して表示灯が消灯します。
リモコンの **Ⓜ** ボタンを押すと、再度ペアリング動作が始まり表示灯が点滅しますので、接続するBluetooth機器のサーチ機能を利用して、本機(OS-WDS series)を検索し接続してください。

Bluetooth 機器との2回目以降の接続

ペアリングをした Bluetooth 機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth 機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※接続する Bluetooth 機器によっては、自動的に接続されないことがあります。本機の故障ではありません。

別の Bluetooth 機器との接続

別の Bluetooth 機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は一度に 1 台の機器しか接続できません。

1. 接続していた外部機器のBluetooth機能をオフにする
 - 外部機器に表示されている、本機の製品名「OS-WDS series」の接続を解除します。
2. 別の外部機器と「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう
3. 接続できないときは、リモコンの **Ⓜ** ボタンを押して、再度「Bluetooth 機器との初めての接続」を行ってください。
 - ※ **Ⓜ** ボタンを長押し(5秒程度)することで、本機に接続したことがあるBluetooth機器の情報は全て消去されます。
 - 登録できるBluetooth機器は最大8台です。最大登録台数を超過して登録すると、接続した順番が古いものから上書きされますので、再度使用するときは登録してください。
 - ※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

正しい使いかた(つづき)

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

1. 「Bluetooth機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく

2. 本機とBluetooth機器が接続していることを確かめる

※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

3. 本機に接続したBluetooth機器で再生を始める

本機のリモコンでBluetooth機器のコントロールができます。

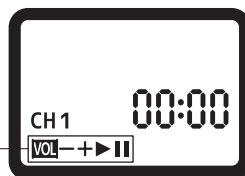
※ 接続した Bluetooth 機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

本機のリモコンで操作できるBluetooth機器の機能

- ▶ 再生
- ⏸ 一時停止
- ⊕ 音量UP
- ⊖ 音量DOWN

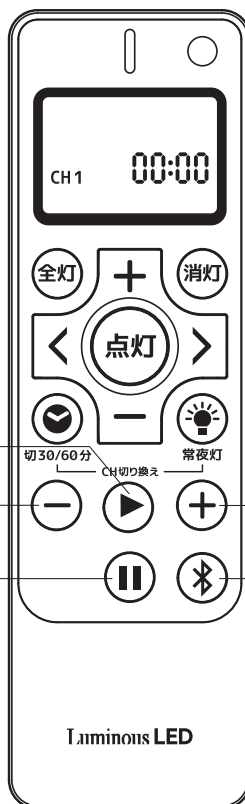
このコントロールする機能は、BluetoothのAVRCP プロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ AVRCP プロファイル対応機器でもこのコントロールに対応しない機器や、対応するコントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。



液晶表示部

各ボタンを押す毎にボタンの機能に対応した内容が表示されます。
※ ボタンを離すと10秒後に液晶表示が消えます。



リモコン

取りはずしのしかた



警告

取りはずしの際は、安全のため電源を切り、通電していないことを確認する。
感電・火災・やけどの原因になります。

取りはずしのしかた

お手入れするとき、別の部屋に移動させるとき、
転居するときなど、次の手順で取りはずしをおこ
なってください。

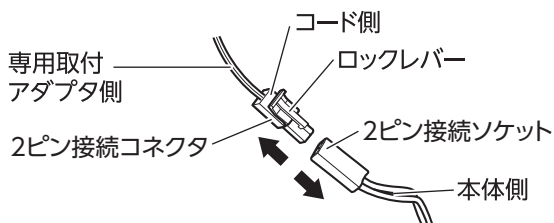
1. 電源(壁スイッチなど)を切にする

2. カバーをはずす

カバー部分を持ち、左に回すとカチッと音が
してロックが解除されます。

3. 専用取付アダプタの2ピン接続コネク タと本体の2ピン接続ソケットをはずす

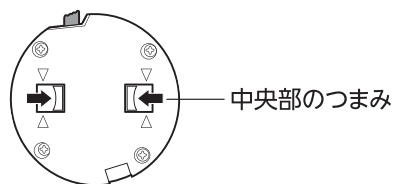
2ピン接続コネクタのロックレバーのコード側を
押さえながら、2ピン接続コネクタを引き抜きます。



※イラストはイメージです。

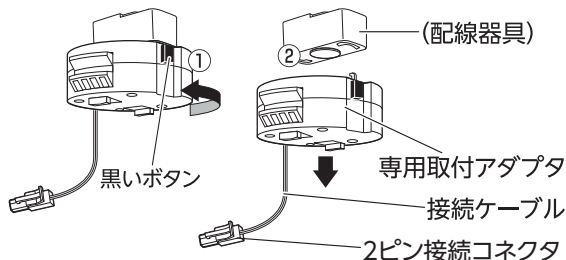
4. 専用取付アダプタの中央部のつまみを つまんで本体をはずす

本体を手で確実に押さえながらおこないます。



5. 専用取付アダプタをはずす

- ①専用取付アダプタの黒いボタンを押しながら
矢印の方向に回します。
- ②配線器具から取りはずします。



お手入れのしかた



警告

お手入れの際は、安全のため電源を切り、通電していないことを確認する。
感電・火災・やけどの原因になります。

お手入れのしかた

- 明るく安全に使用していただくため、定期的に(6か月に1回程度)
清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよくしぼってふき取
ります。乾いたやわらかい布で必ずふき取り、十分乾いてから使
用を開始してください。
- リモコンの送信部も定期的にお手入れをおこない、汚れをふき
取ってください。汚れるとリモコンの効きが悪くなります。



注意

- 石けん水は必ずふき取る
- 本体の内部を濡らさない
- シンナー・ベンジンなど揮発性のもの
や、みがき粉、洗剤、たわし・スポンジ
のかたい面を使用してお手入れをお
こなわない
- 殺虫剤などかけたりしない
破損・変色などの原因になります。

修理・サービスを依頼する前に

警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
点灯しない	・電源(壁スイッチなど)が「切」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入」にする
	・ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	・接続コネクタと本体側接続ソケットが確実に接続されていない	接続コネクタと本体側接続ソケットを確実に接続する
	・専用取付アダプタと配線器具が確実に接続されていない	専用取付アダプタと配線器具を確実に接続する
リモコンが正常に動作しない	・リモコンのチャンネルが本体と一致していない	リモコンと本体のチャンネルを合わせる
	・リモコンの電池が正しくセットされていない	リモコンの電池を正しく入れなおす
	・リモコンの電池が切れて信号が送信されていない	リモコンの電池を新しいものにする
	・本体の受信部に信号が届いていない	障害物を取り除く、もしくは受信可能な範囲から操作する
点灯中・消灯直後など異音がる	・使用環境により電源部から多少の音が発生することがあります	問題ありません。気になる場合はドウシヤお客様相談室まで、ご相談ください
点灯中・LEDがチラつく	・使用環境により大電力を要する機器が同じ電源幹線に接続されていると、負荷変動で電源電圧が不安定になっている	問題ありません。電源の接続を変更など、工事業者に相談ください
	・強い電波を発生する機器を近くで使用している	強い電波を発生する機器を本機からの距離を離す
音が出ない	・Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける
	・無線LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	・正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	・Bluetoothの通信遅延	状態によってBluetoothでは若干遅れることがあります
ペアリングできない	・Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機をより近づけてペアリングしてみる
	・Bluetooth機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
		外部機器の取扱説明書を確認する
	・先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する
5秒ごとに勝手に動作が切り替わる	・店頭用デモモードになっている	全灯ボタンと常夜灯ボタンを同時に5秒以上長押しする (再度同じ操作をすると、デモモードになります。)

よくあるご質問

Q	停電復帰後に勝手に点灯してしまいます。
A	正常動作です。(壁のスイッチは「入」状態で、リモコンで「切」にしていた場合)通常の停電復帰時は、スイッチやリモコンを探す必要が無いよう、照明が点灯した状態で復帰する設定になっています。点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態で点灯します。
Q	停電復帰後、勝手に点灯しないようにできますか。
A	壁スイッチを「切」にしてください。照明器具側では設定の変更はできません。
Q	リモコンで電源を「切」にしても、急に消灯しない。
A	正常動作です。本製品は急に消灯せずにゆるやかに消灯していきます。

長年ご使用の際はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、使用を中止してください。製品の故障または寿命と考えられるため、交換をしてください。

アフターサービスについて

●製品の保証について

1. 本製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
 2. 保証期間はご購入の日からLED電源・LED光源ユニットは5年間、その他(本体、リモコン、カバーなど)は1年間です。
- ※ 保証の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合、保証期間は半分になります。
尚、保証の内容に取換作業等を含みません。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理を承ります。

●修理を依頼されるときは



警告

- ・ 故障のときは、ただちに使用をやめて電源を切り、ご購入の販売店に本製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ・ ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは…

ご購入の販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。

故障・修理についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

ドウシシャ
福井家電カスタマーセンター

☎0120-104-481

【受付時間】9:00~17:00(祝日以外の月~金曜日)
〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

www.doshisha.co.jp/support/faq/lighting.html



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

